

学校だより — 令和7年6月 —



所沢市立柳瀬中学校 校長 猪口 茂

やなせ

学校教育目標

3つのKを達成しよう

- 活躍しよう
- 基礎・基本をしっかり身に付けよう
- 健康な心と体を育てよう

5月の柳瀬中学校

非行防止教室（5月20日）

所沢市教育委員会 生徒指導・いじめ問題対策委員の伊勢さんと末竹さんを招き、非行防止教室を開催しました。

●今回の講演で、どんなことが犯罪として扱われ、どんな罰を受けるのか。また、SNSの危険性について知ることができました。よく考えてみればどの行為も思ったより自分達の身近にあることが分かったので、少しでも犯罪に巻き込まれないための知識を身につけていきたいです。（3年生 女子）

感想にもある通り、元警察関係者のお二人が、18時過ぎのゲームセンターへの出入りや、23時～朝4時までの子供だけの外出は補導の対象となること。闇バイトや危ないサイトについてなど、具体的なルールや身近な危険についてお話してくださいました。

講演会が終わった後お二人と話していて伺った、「電話de詐欺」の話が気になりましたのでご紹介します。「電話de詐欺」とは、警察官や銀行員を装ってATMから送金させたり、銀行口座の暗証番号を聞き出したりする詐欺の事です。そうした詐欺犯の多くは、LINEのビデオ電話に誘導するのだそうです。スマホにはLINEが入っている人が多いので、電話を受けている人が慌てた状態のまま誘導できるからということでした。これだけ騒がれていても、未だに騙されてしまう理由が分かったような気がしました。ご家族を含め柳瀬の皆さんは「LINEにつなごうとしたら詐欺」を意識して、「電話de詐欺」に引っかからないようにしていきましょう。

体育祭（5月29日）

今のクラスが新しいメンバーで始まって約2か月。昨年度よりこの時期に体育祭を行っているのには、皆で力を合わせる競技の練習を通し、クラスでの仲を深めてほしいという願いがこもっています。

5月に入ると体育の授業や学年での体育祭練習が始まり、毎日のように校庭から元気のいい声が聞こえてきました。特に大縄跳びの練習が始まると、声のトーンは一段と上がります。

その大縄跳びでは、練習を始めた早い時期から2年生には100回以上跳べたクラスが出ていました。同じ頃の3年生各クラスの記録は50回前後でした。各学年の練習会の記録は、クラスの頑張りの成果として、また少しずつ数を伸ばしていく成長記録として、校内に大切に掲示されています。これまで大縄跳びは、上級生ほど良い記録を出すのが恒例でしたので、この状況が3年生のプレッシャーにならなければよいと思っていました。

当日、競技を行ってみると、今年は2年生・3年生とも全クラスが100回を超えるという、本当に素晴らしい記録でした。全校を通しての最高回数は、2年2組の150回でした。

目の前で2年生の跳ぶ様子を見ていた3年生は、自分達の競技前に学年全員で円陣を組みました。クラスでの円陣は見ますが、学年の円陣は見たことがありません。円陣の中心にいる6人の体育委員は、「学年全体の合計で400回を超えるぞ」とクラスを超え3年生全員で頑張ろうと声をかけ、学年の皆がそれに力強く応えていました。

競技の結果は、3年生の1位から3位までの差はそれぞれわずか1回という接戦でした。互いに競い合いながら、学年皆で高め合った結果です。まさに「勝ちより価値のあるもの（1年生学年便りより）」を見たように思いました。